

## シニアホーム紹介サービスを通じて入居を選択した介護家族の実態を紹介する 介護家族「心の介護」の大切さを届ける『笑美面インパクト通信』7月号を発行

シニアホーム<sup>※1</sup> 紹介事業の株式会社笑美面(本社:大阪市西区)は、ニュースレター『笑美面インパクト通信』7月号を2026年7月6日に発行しました。当ニュースレターは、「シニアホーム紹介サービス」を利用し、大切な家族の入居を選択した介護家族の生活の変化「介護家族の入居エピソード」などを紹介しています。

※1 シニアホームとは:当社が主に紹介する有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅およびグループホームをまとめて示す。

第12号となる7月号では、入居エピソードに加え、2つの取り組みについて紹介しています。

1つ目は、入居後アンケート結果を紹介しています。入居後、介護家族が時間を何に使っているかを聞いています。多くの介護家族が、まとまった時間を捻出し、その多くを仕事に活用しています。これは「ビジネスケアラー」解消の一助になっていると捉えています。同時に、当社サービスを利用することにより、介護家族の約84%が、「シニアホームへの入居に関しポジティブな気持ちの変化」が起きていると報告しています。

2つ目は、7月より提供を開始した、企業の「介護による経営損失」を可視化するレポート「介護QQメソッドサーベイ・プラス」。これは、当社が4月から法人向けに本格始動している「笑美面 ケアラー心の介護室」の一環としての取り組みです。業務への影響を企業の経済損失として可視化し、経営が判断可能な指標へと転換します。従業員が仕事と介護を両立できる環境へと導きます。

裏面では、毎号恒例のリアルな入居エピソードについても届けています。「シニアホーム紹介サービス」の提供により、対面相談「家族会議」を起点に介護家族がどのように決断し、どんな変化があったのか。要旨を掲載しています。

### <『笑美面インパクト通信』について>

■発行元:株式会社笑美面 インパクト推進チーム

■発行日:毎月6日予定

■発行対象:病院で退院支援などを担うメディカルソーシャルワーカー、ケアマネジャーなどが在籍する居宅介護支援事業所、高齢者の相談窓口「地域包括支援センター」、シニアホーム運営事業者などの取引先、スタッフなど

■内容:介護家族の実態や入居エピソードなど、事業を通じて生まれた、人や社会に対するポジティブな変化(インパクト)を取り上げます

### ■株式会社笑美面(えみめん) 事業概要

日本初のインパクト IPO 企業として、超高齢社会が抱える「介護家族の負担」と「シニアホームに関する情報不足」という課題に向き合い、事業を通じて介護家族にとって「シニアホーム介護の利用が『ポジティブ/当たり前』になっている状態」をつくりだすことで、家族が「心の介護」に向き合い、高齢者が笑顔でいられる社会の実現を目指しています。

### <シニアホーム紹介サービス>

シニアホーム入居を検討する本人や介護家族向けに、独自の取り組み、豊富な知識と経験を持つコーディネーターによる丁寧なカウンセリング「家族会議」を実施し、納得できるシニアホーム選びから入居までをトータル支援。

### <ケアプライムコミュニティサイト運営>

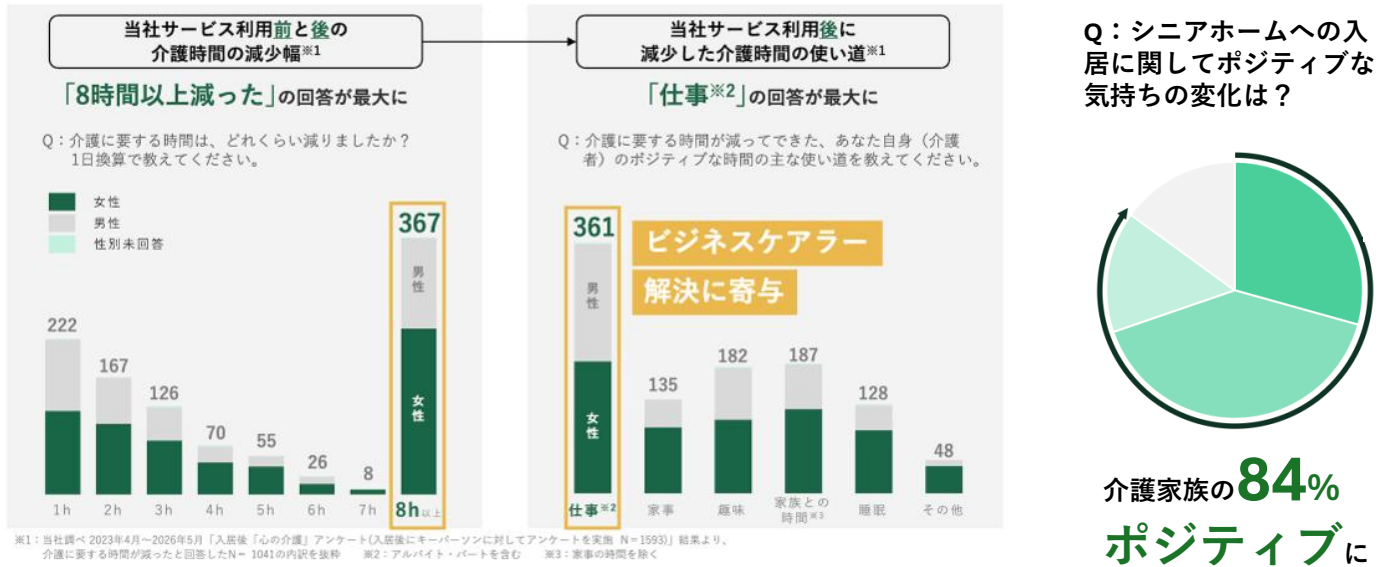
シニアホーム運営事業者向けに、コミュニティサイトの運営を通じて、介護家族が安心して入居を選択できるためのシニアホームサービスの質向上を支援。

- ・社 名:株式会社笑美面(えみめん) /証券コード 9237(東証グロース)
- ・代 表 者:代表取締役 榎並将志
- ・本 社 所 在 地:大阪府大阪市西区京町堀 1-8-33
- ・創 業:2010年9月
- ・資 本 金:51,661,190円(2026年4月末現在)
- ・従業員数(連結):262名(2026年6月1日現在)
- ・公 式 サイト:<https://emimen.co.jp/>
- ・公 式 note:<https://emimen.co.jp/media/>

笑美面は、家族が心の介護に向き合い、高齢者が笑顔で居る社会を目指しています。今月のインパクト通信では、入居後アンケートで確認できた「介護家族に起きたポジティブな変化」や企業人事との連携、入居エピソードなどを紹介します。「インパクト」とは：事業や活動によって生じる社会的・環境的にポジティブな変化や効果

## 「介護時間が8時間以上減った」「仕事に専念できる時間が増えた」が最多回答

### 対面相談「家族会議」を起点とする対話と正しい情報提供が「諦め」から「前向き」な入居へ



※1：当社調べ 2023年4月～2026年5月「入居後「心の介護」アンケート（入居後にキーパーソンに対してアンケートを実施 N=1593）結果より、介護に要する時間が減ったと回答したN=1041の内訳を抜粋 ※2：アルバイト、パートを含む ※3：家事の時間を除く

キーパーソン入居後アンケート（N=1593）結果。介護に要する時間が減ったと回答したN=1041の内訳を抜粋

シニアホームへの入居により、これまで家族が担ってきた身体介護を専門職に委ねることで、介護家族はまとまった時間を捻出。その多くを「仕事」に充てられるようになったと回答しています。さらに、正しい情報に基づくマッチングを経ることで、入居は「やむを得ない選択」ではなく、前向きな意思決定へと転換。誤解の解消や罪悪感の払拭につながっていることが、当社の入居後アンケートから明らかになっています。

※シニアホームとは：当社が主に紹介する有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅およびグループホームをまとめて示す。

## 企業の「介護による経営損失」を可視化するレポートを7月より提供開始

～ビジネスケアラーの仕事と介護の両立に向けた、企業の経営判断を後押し～



「笑美面 心の介護室」本サーベイの一部（サンプル）

働きながら介護を担うビジネスケアラーは企業内で見えにくく、支援につながりにくい現状があります。笑美面が提供する企業・従業員向け「仕事と介護の両立」支援サービスでは、このたび、山梨大学名誉教授・西久保浩二氏の確認のもと、その知見（QQメソッド）を活用し、企業の「介護による経営損失」を可視化するレポート提供を7月より開始しました。経営陣の意識変革を促すことで、仕事と介護を両立できる環境づくりへ。個人課題を社会・経営課題へ転換する取り組みです。



笑美面

介護家族「心の介護」入居エピソード 50

## 父の過ちで生き別れた親子が 30年の時間を越えて再び “親子”に戻れた入居支援



30年の空白期間をつないで——父の過ちで  
バラバラになった父娘が再び親子に戻るまで

「ここまでの関係性になれたのも、親身になって支援していただいたお陰です。本当にありがとうございました」。  
「事故は大変だったけど娘に会えたのは良かったよ。ありがとう」。

生き別れた娘様がいると告白した、退院後の行き先が未定の男性。病院側が娘様を探し出しましたが、娘様は男性にお会いとしませんでした。コーディネーターは娘様と「家族会議」を実施。対話を重ねる中で、葛藤を抱えながらも「少しずつ溝を埋めていきたい...」という本音が見えてきました。コーディネーターは調整役となり、親子それぞれが安心できるホーム選びを提案。入居は関係修復の第一歩となり、新たな絆を少しずつ築き始めた父娘の入居エピソードです。

#家族介護 #ACP #心の介護 #家族の距離感 #入居支援



介護施設の入居を決断したご家族  
入居後の声を紹介(2026年6月) ※原文より一部抜粋

入居前の不規則な食事や、日々の不安もなくなり、良いスタッフの皆さんとの会話や、施設のお友達にも恵まれて喜んでいきます。顔色も良く、元気にしています。

母親の入居により、私は自分の家族の事、そして自分の趣味にも時間を作る事ができています。そして何より、自分の気持ちに余裕ができ、母親に対して優しく接する事ができていると思います。

入院している母親との面会と下着の洗濯のために毎週埼玉から神戸へ通っていたが、母親を埼玉の施設に入居させたので神戸へ通う時間と費用が不要となり、生活に余裕ができた。

#介護家族 #遠距離介護 #心の介護 #家族会議 #施設入居



note

フォロー・スキ♥を頂けると励みになります!

当社の「シニアホーム紹介サービス」を通じて、介護家族がどのように大切な家族の入居を決断し、どんな変化があったのか。そんなリアルな「心の介護」入居エピソードを中心にお届けしています。

株式会社 笑美面 シニアホーム探しに関するご相談を承っています!

☎ 0120-952-305 ※通話料無料

発行元住所：大阪府大阪市西区京町堀 1-8-33

えみめん

検索

<https://emimen.co.jp/>



お電話・ご相談  
すべて  
無料

北海道、関東、関西、愛知、広島、福岡で  
18 オフィス



証券コード9237



(高住連)高齢者向け住まい紹介事業者届出公表制度 届出番号:20-0078